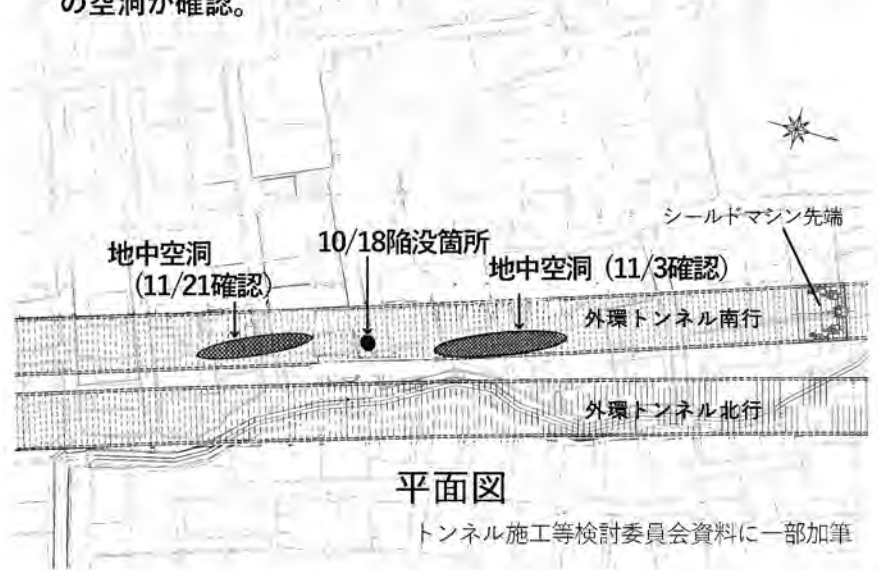


外環道事業・工事の中止を求めます

▼2020年10月18日、調布市の住宅街で道路と住宅の下が陥没。その真下、大深度地下47mでは、シールドマシンによるトンネル掘削が進行中でした。



▶11月3日には、すぐ北側で長さ30m幅4m厚み3mの空洞が、さらに、11月21日には南側に長さ27m幅3m厚み4mの空洞が確認。



外環道路は、「大深度法」により、地下40m以下の使用は公共目的であれば、所有者の許諾なくトンネル工事ができます。許可はおろか敷地のどこを通るのかの説明すらありませんでした。

— 陥没・空洞 3ヶ所全て 外環トンネルの真上 —

「大深度だから地上には影響がない」

と言っていたのに、なぜ?!

- 陥没事故で売却予定の家が売れず、老人ホーム入居が困難になった。
- 振動で自宅の真下を掘っていたのを初めて知った。
- いつ家が陥没するのか不安。
- もうここには住めない、買い取ってほしい。

国・NEXCOはいまだ責任を認めず!

外環道事業・工事の中止署名に
ご協力ください

ネット署名でも参加できます

<https://www.change.org/StopGaikan>



地下横断面図

◆東京外かく環状道路

練馬区・関越大泉～世田谷区東名喜多見を南北につなぐ16.2kmの高速道路。

1966年に高架方式で都市計画決定されるも、10万筆の反対署名等で凍結宣言。

2009年直径16mのトンネルを2本掘る地下方式に変更して事業化。

2013年大深度地下使用認可。2015年地中拡幅部拡大の都市計画変更。

2012年着工 2017年東名JCTから2台のシールドマシン掘進開始、2019年大泉JCTから2台、2020年にはランブ用が大泉で1台、中央(三鷹)で2台掘進開始。

今回の陥没事故で7台のシールドマシンは全て停止。JCT工事は継続中。

東京外環道事業・中止署名にご協力ください

調布市域では苦情100件 特に陥没地域周辺で

振動・騒音・低周波音、健康被害、亀裂・タイル剥離等 家屋損傷、地盤変異…

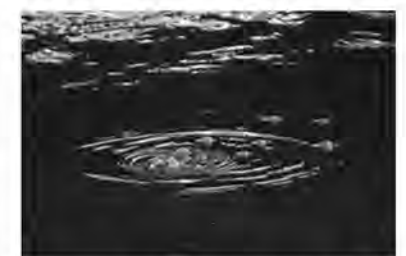
8月上旬からずっと 異変続出!



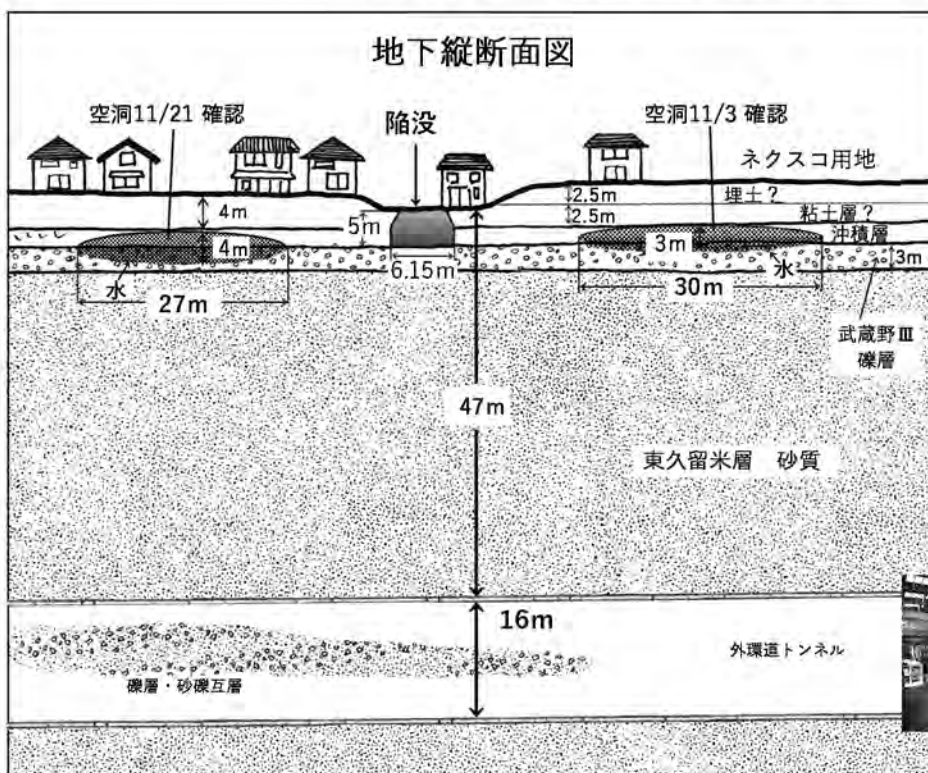
- 約3日間、ズンズン、ズンズンとベース音のような振動音が1日中続いた。
- スマホの震度計アプリで震度2～3が出ていた。
- 振動に悩まされ、上階の物音と思い苦情を不動産屋に申し立てたら、アパート全体に響いていたとわかった。
- 朝から晩までドッドドツとなる音が聞こえ、神明橋から西野橋までの約150mの区間の入間川の手すりも振動していた。
- 周期的なズンズンという振動とガラス戸がガタガタ鳴り、在宅勤務ができず場所を変えた。
- 住宅の外壁タイル落下、塀の亀裂、外床の隆起、外床隙間の拡大等の家屋損傷や地盤変位が、マシン通過後に明らかになった。
- マシンが近づくと、耳への圧迫感、吐き気などに襲われ、家のなかにいられず、外に出るしかなかった。

野川での気泡噴出継続中

直径16mの2本の巨大トンネル工事は、シェービングクリームのような薬剤を、マシン先端から地中に入れる気泡シールド工法で掘進。2018年5月に世田谷区の野川、2019年8月に練馬区の白子川、2020年3月には調布市の野川に、一呼吸で即死レベルの低酸素濃度(1.5%~)の酸欠空気を漏出させ、500m以上離れた現在も野川への漏出は続いています。



調布市野川の気泡 2020年3月撮影



トンネルは、直径16.1m(5階建てのビルに相当)のシールドマシンで掘削。



ネット署名こちらから